

美しい緑豊かなまちづくり

コンセプト:ごみの無い自然豊かなまちづくり。自然災害を防ぎ、働きたい老人は世のために力を発揮出来る。本当の意味で何時までも生きがい、夢と希望を持って、この地を愛し住み続けるために。

我々の住む九州は緑豊かで、海の幸・山の幸に恵まれている南の大地である。この地に暮らしてほっとするものを感じるが、大量消費時代が続く中、ごみ問題を解決することにより更に住みよい地にしたい。

林業、農業などの一次産業が衰退し、山の樹木に荒れが目立ち休耕田が目につくようになってきた。我々は自然の恵みを味わい、その懐に抱かれて齢を重ねて来たが、その環境を少しでもよい状態で子孫に残すのが現代に生きる我々の務めであろう。

どのような問題でも、上流側の対策ほど投資効果は高い。発生してしまったごみを分別するよりは最初から分別して資源として活用したほうが格段に費用対効果は高い。ごみ・廃棄物の不法投棄の対策では、更に大きな費用を要するが、不法投棄は後を絶たず、我々の住環境に醜い姿をさらしている。

我々の生活する身の回りにも落書き不法ポスターなど、心地良い住環境を阻害する行為が繰り返されている。先日も、地元の中学生在が国道脇の空缶拾いを行っていたが、回収袋が見る見るうちに一杯になるのである。

ごみの無い環境、美しい山、川、海の自然環境に囲まれた心地よい住環境を子孫に残すための手段を、現実的な費用捻出と共に考えてみたい。

現在の社会情勢は老若男女を問わず失業率が高く、更に第一次ベビーブーマーの退職年齢と重複して、高齢者の就業は更に厳しい社会情勢である。この状態は今後も継続することが予想され、これらの人材を期待した場合、良質な労働力確保は難しくない。

不法投棄等の処理、落書きの処理はどのように行われているか。県及び各市町村の持ち出しで行われている例が多い。自治体からの出費は我々の税金であり、一部の不心得者のために使用される性質のものではない。

受益者負担、原因者負担が公共での原則である。不法投棄・落書きの当事者を割り出し、その処理を負担させるのは原因者として当然であるが、今まで税金で行ってきた調査・原因者の割り出し・特定に要する費用もすべて原因者に負担させるべきである。そもそも調査に要する費用などは、不法投棄等が無ければ発生しない事柄である。

この調査に高齢者などの労働希望者を充てる事で、労働意欲のある人に仕事を与え原因者から調査費を含めて費用の徴収を行い、投入される税金の額を削減する。削減した分を森林の保護に廻せば更に雇用は促進される。

中高年の登山が 10 年ほど前からブームになっている。自然に抱かれて野山を歩くことに慣れている中高年者には、趣味と実益を兼ねた作業として受け入れられるだろう。森林の保護は息の長い作業で、速度を要しないが継続が必要であり、地味だが将来の国土を守る重要な仕事となろう。

山、森林を守ることは川、海をも守ることになる。豊かな海は立派な山・森林があって実現する。このように社会に役立つことが実感出来るのは素晴らしいことで、私が高齢者になり今の職業を定年退職して、元気な体調が維持出来れば是非ともこれに参加したい。

「木材は海外から輸入したほうが安い」といわれている。しかし、輸入先の樹木が減少したら、経済発展で現地の人件費が高騰したら、何らかの原因で輸送費が高騰したら国内の資源整備を怠った報いはすぐ現れる。伐採後の商品価値よりも、樹木そのものが持つ洪水調節、農地保全、渇水対策などの効果が大きく、豊かな緑が我々に与える安らぎの効果は更に大きい。

また、現代人はかなりの率で花粉症に悩む人が増えてきているが、ある意味で花粉症は人災と云えなくもない。急速な人工林の普及で同一樹種、同一年代の樹木で山を覆うことになってしまう。杉でも檜でも青年期の樹木が一番多くの花粉を発生させ、人工林では全山の樹木が一斉に青年期に達する。樹種が異なれば花粉発生の最盛期も異なるし、樹齢が異なれば木々によって発生する花粉量も異なる。自然林に近い形の森林は、我々にも優しい存在となる。

自然林の保護は人工林より手間・暇・費用がかかる。しかし、自然林では様々な樹木が、若木から老木まで混在し浮遊する花粉量は格段に少なくなる。自然林の管理を行い、ゆっくり環境整備を行う。見た目には美しいだけでなく、老若男女問わず健康で安心して生活するための環境作りを、中高年パワーにあやかり推進したい。